看取りから1年後,ご家族の手紙を 通して気がつくことができた 自分たちのケアの価値

東京大学医学部附属病院 A13北看護師

藤縄 遥

緩和ケアチームとの協働



様々な職種が患者さんを多ろう。多方面から支えています。





本日の内容

- ◆病棟看護師がAさんの呼吸困難感緩和に 向けて緩和ケアチームと共に関わったこと
- ◆Aさん・家族の「自宅に帰りたい」という思いを叶えるために、地域医療連携部、理学療法士、栄養サポートチームなどの多職種と連携し退院支援に取り組んだこと
- ◆その後状態が悪化したために病院で看取り、 家族とエンゼルケアを行ったこと

患者紹介

◆年齢:70歳代

◆性別:女性

◆疾患:慢性呼吸器疾患(HOT導入済み)

◆家族:夫・長男と3人暮らし

長女夫婦のサポートあり

◆性格:遠慮がち

◆その他:難聴あり



検査ができるような全身状態ではなく、即治療開始となった。

Aさんの苦痛



呼吸が苦しい

ベットの上で動いただけでも 息切れしてしまう 思うように 動けない



食事が 食べられない

肺の病気に対する治療

- ①抗生剤・抗真菌薬の投与
- 2適切な酸素吸入



③安静による呼吸回数の抑制 (酸素と二酸化炭素のバランスを整える)

データ上の炎症反応・酸素化は緩徐に改善

しかし本人の呼吸の苦しさはあまり変わらない・・・

緩和ケアチームへ相談

呼吸苦には本人の気持ちの要素も大きく関わっている・・・?

→緩和ケアチームの介入

- ・タッチング
 - (胸や背中に手をあてて呼吸を誘導)
- ・肯定的な声かけ
 - (上手に呼吸できてますよ、
 - 酸素の値が上がってきましたよ)
- ・体位を調整 (座位・ベットアップ)
- 呼吸苦を和らげる環境
 - (室温をやや低めに設定、うちわで仰ぐ)



せん妄も呼吸苦を増強させる

- ・時計を持ってきてもらう
- ・カレンダーを作成し、日付の色を 塗ってもらう



意識障害のひとつ

(日時が分からない、会話が噛みあわなくなる)

Aさんの状態:ハイリスク

(高齡·低酸素·個室環境·難聴·長期臥床·不安)



苦しさを忘れられるような病室環境の整備塗り絵が好きなAさんの嗜好に合わせて



少しずつ呼吸苦が緩和されて・・・

・シャワーに入れるようになった (寝たままの状態で)



・車椅子に座って食事ができるようになった

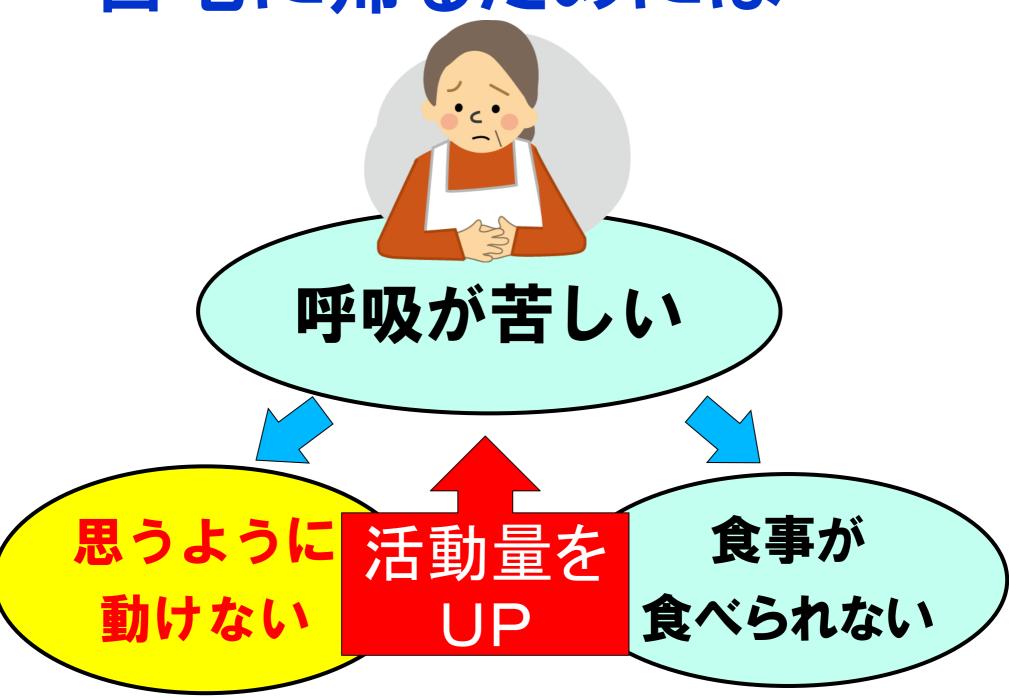
Aさん「家に帰りたい」 家族「家で看たい」

入院時は自宅退院は 不可能と考えられていたが・・・

療養型病院へ転院後自宅退院をめざす



自宅に帰るためには・・



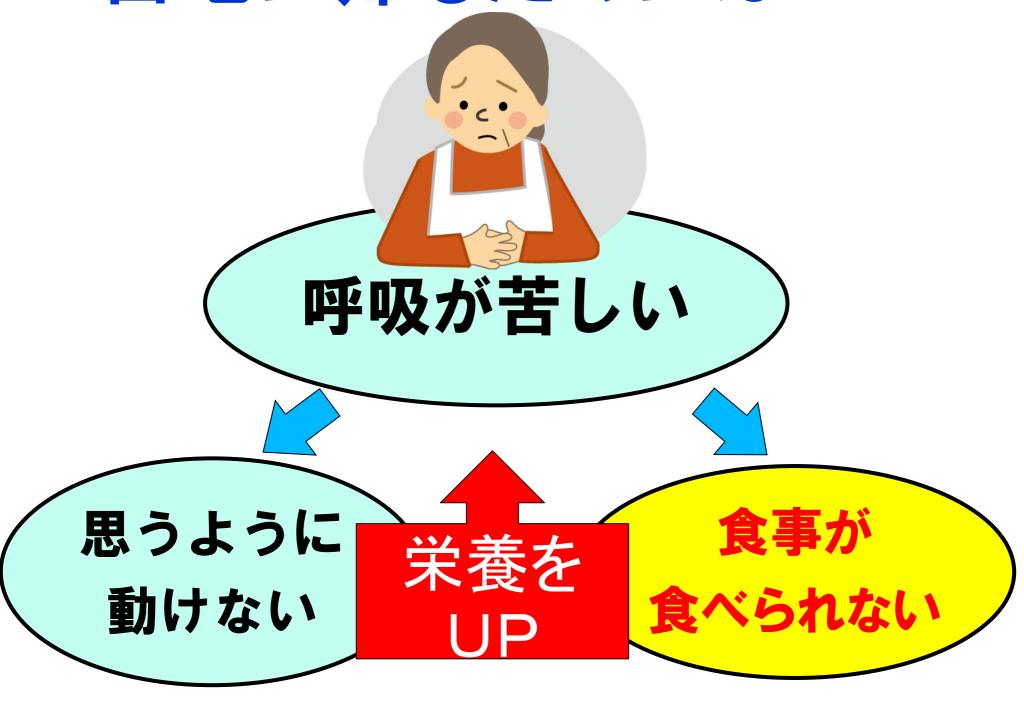
ADL(日常生活動作)の向上

⇒理学療法士(PT)の介入

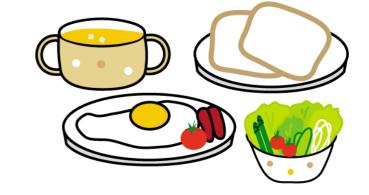
「自宅のベットからトイレまで、 つかまり立ちで歩くか、 車椅子で行けるようにする」という目標を共有

- ・呼吸リハビリ(動作と呼吸を合わせる)
- · 廃用予防(筋力低下·関節拘縮予防)運動
- ・車椅子での足こぎ、歩行訓練を実施
- ・リハビリ時には不安軽減のためなるべく医師も 付き添い

自宅に帰るためには・・



栄養状態の改善



→栄養サポートチームの介入

- ・食事形態を一口大やきざみ食へ変更
- ・持ち込み食を許可
- ·栄養補助食品の検討 十



- ・退院後も継続して摂取できるよう、処方できるものを検討
- ・アイス状にして摂取しやすいように工夫

在宅環境の整備・転院調整

- ・在宅環境の整備:介護保険・身体障害者申請
- ⇒地域医療連携部の介入
- •Aさん・ご家族の希望に合わせた転院先を検討
 - ・酸素療法に関わる転院先の限定(高容量の酸素・酸素器具)
 - ・抗真菌薬の継続が難しい
 - ・実際に見学に行くと、想像との解離

なかなか転院先は決まらない・・・・



自宅退院をめざし転院先を 探していたが・・・・

- ・原病の悪化に伴う、心臓への負担
- •夜間せん妄の出現

全身状態が徐々に悪化・・・

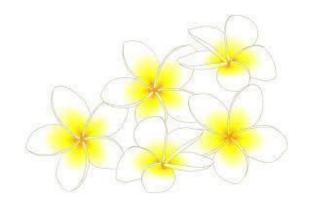
Aさん・ご家族との 最期の関わり



ご家族とAさんがなるべく共に 過ごせる時間をつくる

- ◆ご家族の方とともに手浴
- ◆処置やケアは最小限にする







エンゼルケア







- ・シャワー浴の実施
- ・ご家族と共にエンゼルケアを実施
- ・医療行為による侵襲や病状などによって失われた 生前の面影を可能な範囲で取戻し、自然で安らかな 姿に整え、残された家族のグリーフワークを支援する

グリーフワークとは・・ 悲しみの過程を乗り越え、グリーフ(悲嘆)から立直り 再び日常生活に適応していく過程

ご家族の方から手紙を頂いて・・



